PCAPS 研究会・QMS-H 研究会合同シンポジウム

社会技術としての医療の基盤構築

平成 24 年度最終成果報告

PCAPS 研究会

PCAPS の実装と臨床分析

プログラム

日時：2013 年 3 月 2 日（土） 10:00～17:30 終了予定

会場：東京大学（本郷キャンパス）工学部２号館　２１３号室

患者状態適応型パス[PCAPS(ピーキャップス):Patient Condition Adaptive Path System]は，臨床知識の構造化と，知識の再利用を支援します．PCAPS 研究では，医療の質安全保証の実現のために，品質管理工学における標準化とプロセス管理の概念を投入し，医療サービスという無形の対象の臨床プロセスを，可視化，構造化，標準化，IT 化していきました．PCAPS 研究会では，「患者状態適応型」という医療サービスの特性を表現する構造モデルを適用して構造化臨床知識コンテンツを医療の領域毎に開発し，臨床実践における当該知識コンテンツを再利用するための方法論を開発しています．

H24 年度の成果は，①各学会の診療ガイドラインの活用インターフェースとしての PCAPS コンテンツの意義づけ，②新たな構成要素である介入ロジックの構造と適用事例の検討，③個々の病院で提供する医療をより安全に効率的に実施するためのアドミニストレータ機能の整理とその開発・実装，④PCAP を用いた臨床分析の可能性の提示，⑤システム制約条件に合わせた PCAPS 実装形式のタイプ検討と実装準備，⑥がん診療体制の質評価手法開発，です．

研究メンバーは，PCAPS の社会実装によって，医療の質を享受できる社会にしたいと考えています．本シンポジウムにぜひご参加していただき，意見交換をお願いいたします．みなさまのご参加をお待ちしています．

PCAPS 研究会　代表：水流聡子
顧問：飯塚悦功　　アドバイザー：棟近雅彦

主催：東京大学工学系研究科　医療社会システム工学寄付講座
共催：PCAPS 研究会，QMS-H 研究会，（社）日本品質管理学会（JSQC）医療の質・安全部会
後援：PCAPS－IMT コンソーシアム
研究助成：　平成 24 年度厚生労働科研第 3 次対がん総合戦略研究事業（若尾班）
平成 24 年度厚生労働科研地域医療基盤開発推進研究事業（中山班）

司会：棟近雅彦（早稲田大学）・水流聡子（東京大学）

午前の部

10:00-10:05

開会の挨拶：PCAPS 研究会のねらい　　飯塚　悦功（東京大学）

10:05-10:20

Ⅰ：統括報告　　水流　聡子（東京大学）

10:20-11:20

Ⅱ：PCAPS 実装研究

- 「脳神経外科＆手術領域での PCAPS 実装　～実装に際してのハードル～」
  名取良弘（飯塚病院脳外科）、成松慧（飯塚病院手術部）
- 「久留米大学病院での PCAPS 実装　～電子カルテ導入と PCAPS 導入準備～」
  下川忠弘（久留米大学病院）
- 「禎心会病院での PCAPS 実装　～PCAPS 導入準備状況と課題～」
  伊東敏弘（禎心会病院）
- 「聖マリア病院での PCAPS に求めるもの　～病院内のデータを活用した効果的なレポート出力～」
  荒木昭輝（聖マリア病院）
- 「周産期領域　～PCAPS 実用化に向けた実装トライアル～」
  小口秀紀・宮﨑のどか（トヨタ記念病院産婦人科）
- 「PCAPS Administrator を用いた分析で実現できること」
  平田巧（京セラコミュニケーションシステム）

11:20-12:20

Ⅲ-1：PCAPS による臨床分析事例

- 「リンパ浮腫の臨床プロセスチャートと検証調査結果解説」　北村　薫（ナグモクリニック福岡）
- 「小児科臨床における問診票の価値分析」　本木隆規（葛飾医療センター）
  藤原優子（慈恵医科大学付属病院）
- 「乳がん臨床プロセスチャート検証調査結果から見た診療実態」　青儀健二郎（四国がんセンター）
- 「慢性腎不全（CKD）の臨床分析」　藤井直彦（兵庫県立西宮病院）

～・～

12:20-13:10　昼休み（50 分）

～・～

『医療の質安全保証に向けた臨床知識の構造化（４）
患者状態適応型パス［PCAPS の活用と臨床分析］』（日本規格協会）　本体価格：5,500 円
水流聡子・飯塚悦功・棟近雅彦監修　患者状態適応型パスシステム研究会編著

午後の部

13:10-14:00

Ⅲ-2：PCAPS による臨床分析事例

- ガイドラインを活用した動脈硬化症管理システムの開発
  盛重邦雄（聖マリア病院）
- 脳血管障害後のリハビリ介入
  井手睦（聖マリア病院）・黒木洋美（飯塚病院）・進藤晃（大久野病院）
- COPD 増悪時の介入内容調査
  茂木孝（日本医科大学病院呼吸ケアクリニック）・堀江健夫（前橋赤十字病院）

14:00-14:20

Ⅳ：地域連携・地域医療システムの設計・評価

- 小児疾患・成長障害を中心とする地域連携・地域医療システムの設計
  本木隆規（葛飾医療センター）
- がん薬物療法の地域連携
  秋山聖子（東北大学）

14:20-15:00

Ⅴ： 他プロジェクトにおける PCAPS の実装展開

- 日本小児心疾患実態調査：PCAPS 実装報告
  梶野浩樹（日本小児循環器学会 学術委員会 小児心疾患実態調査委員会旭川医科大学小児科）
- がん診療連携拠点病院における診療体制の調査
  若尾文彦（国立がん研究センター），水流聡子（東京大学）

15:00-15:50

Ⅵ： パネルディスカッション：「がん診療プロセスの質評価」

- パネルリーダー：若尾文彦（国立がん研究センター），水流 聡子（東京大学）
- パネリスト：
  - 名取 良弘（飯塚病院）
  - 青儀 健二郎（四国がんセンター）
  - 吉井 慎一（ひたちなか総合病院）
  - 吉岡 慎一（兵庫県立西宮病院）
  - 羽藤 慎二（四国がんセンター）
  - 小口 秀紀（トヨタ記念病院）

～・～

休憩（10 分）

～・～

16:00-17:20

Ⅶ：ポスターセッション：（ラウンド形式，1 領域質疑込 10 分）

・ポスターセッション会場は、会場を出た廊下になります。
・発表コンテンツの詳細については別紙をご参照ください。

17:20

Ⅵ：講評

水流 聡子（東京大学）

【シンポジウム会場】

会　場　：東京大学（本郷キャンパス）工学部 2 号館　２１３号室

研究会メンバー用昼食会場：工学部 8 号館 7 階　702 号室・706 号室・708 号室・722 号室

※がん質評価のパネリストの方は 702 号室

懇親会会場：『Bon Art』（Tel：03-3812-3212）

シンポジウム運営組織

代表	水流聡子（東京大学）	
顧問	飯塚悦功（東京大学）	
アドバイザー	棟近雅彦（早稲田大学）	
運営 スタッフ	＜PCAPS 事務局＞ 加藤 省吾（東京大学） 下野 僚子（東京大学） 小柴 研一（東京大学） 大森 美保（東京大学） 黒田 幸清（東京大学） 佐藤 典子（東京大学）	＜学生スタッフ＞ 阿部 徹（東京大学） 谷中 瞳（東京大学） 伊藤 怜史（東京大学） 岡本 昌也（東京大学） 小林 翔平（東京大学） ポー・シン（東京大学）

問い合わせ先：
PCAPS 事務局
E-mail：Office_PCAPS@umin.ac.jp
TEL：03-5841-7301 FAX：03-5841-7276
本研究事業 HP：http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/index.html

注意：カメラ撮影はご遠慮ください。PCAPS は各種特許申請済みです。